

1. 本誌は、医学に関するあらゆる分野の未発表の和文並びに英文の論文を掲載する。投稿原稿の種類は、原著(Original article)、総説(Review)、症例報告(Case reports)であり、査読制とする。編集委員会は、査読者の意見を参考として論文の採否を決定する。その他、鹿児島大学医学会集談会抄録や編集委員会で承認されたものを掲載する。著作権は鹿児島大学医学会が有する。
2. 本誌に投稿する論文でヒトを対象とする場合は、当該研究施設の研究倫理審査委員会等の承認を得てヘルシンキ宣言(1964年採択、2013年修正)を遵守したものでなければならない。また、動物実験の場合には、当該研究施設の動物実験の許可を得て、動物福祉の精神に基づいて倫理的に行われたものでなければならない。遺伝子組換え実験については当該研究施設の遺伝子組換え実験管理の許可を得たものでなければならない。
3. 症例報告では、特定の患者の疾患や治療内容に関する情報が記載されるため、プライバシー保護に配慮し、患者が特定されないように留意しなければならない。日本医学雑誌編集者組織委員会ガイドラインに示されているプライバシー保護ガイドラインに準ずるものとする。

#### 4. 和文原稿について

- (1) 原稿は、文書作成ソフトウェア(Word)を用い、A4サイズで作成する(目安:40字/行、32行/頁)。作成した原稿を電子メールに添付して提出する。
- (2) 和文原稿は、和文表題、和文著者名、和文所属機関名、英文表題、英文著者名、英文所属機関名、責任著者名、責任著者連絡先(所属機関名、所在地、電話番号・電子メールアドレスなど)、英文要約(Abstract)、キーワード(Key words)(英語で3~10語)、和文抄録(1,200字程度)、和文本文(緒言、対象と方法、結果、考察、結論)、利益相反、謝辞、文献、図表、図・写真の説明文の順序で記載する。なお、総説や症例報告などの場合には、これに準じなくてもよい。原稿は、専門用語以外は、当用漢字を用いて現代仮名づかいに従い平仮名書きとする。
- (3) 英文要約は250語程度とし、結論だけでなく、目的や方法、結果がよく読みとれる内容のものとする。なお、英文は、英語を母国語とする専門家の添削を必ずうけること。

#### 5. 英文原稿について

- (1) 原稿は、文書作成ソフトウェア(Word)を用い、A4サイズにダブル・スペースで作成する(目安:90字/行、35行/頁)。作成した原稿を電子メールに添付して提出する。なお、英文は、英語を母国語とする専門家の添削を必ずうけること。
- (2) 原稿の構成は、英文表題(Title)、英文著者名(Authors' names)、英文所属機関名(Affiliations)、Corresponding author, address of corresponding author、英文要約(Abstract)(250語程度)、英語のキーワード(Key words)(3~10語)、本文(Introduction, Materials and methods, Results, Discussion, Conclusion)、利益相反(COI)、謝辞(Acknowledgements)、文献(References)、和文要約、表、図・写真の英文説明文の順序とする。なお、総説や症例報告などの場合には、これに準じなくてもよい。
- (3) 和文要約の内容は、和文表題、和文著者名、和文所属機関名、和文要約(1,200字程度)の順に記載する。ただし、日本人著者が含まれない場合は、これを省略することができる。
- (4) 英文と和文の要約は、結論だけでなく、目的や方法、結果がよく読みとれる内容のものとする。

## 6. 原稿作成上の注意事項

- (1) キーワード(英語で3 ~ 10 語)は, 英文抄録のあとにつける. 用語は, Index Medicus のMedical, Subject Headings の最新版を参照のこと.
- (2) 単位等の略号は, 次の例示に従い, ピリオドは付けない. 例) g, kg, mg,  $\mu$ g, pg, L, mL,  $\mu$ L, m, km, cm, mm,  $\mu$ m, nm, yr, wk, d, h, min, s, ms,  $\mu$ s, M, Bq, V, W, Hz, Eq, IU, SD, SEM, n, r, NS, p. 他は国際単位系(SI)の単位記号を参照のこと.
- (3) 数字は, すべて算用数字を用いるが, 成語はそのままとする. 例) 一般, 同一.
- (4) 表の上に表題を書き, 表の下に説明文を記入する. 図・写真の説明文説明文は, 図の内容を十分に理解させるに足るもので, 和文論文の場合でも, 表, 図, 写真の表題と説明文は英文で書くことが望ましい.
- (5) 表の内部には, 原則としてタテ・ヨコの罫線は入れない. 表に使っている標準的でない省略形についてはすべてを脚注で解説すること. 脚注では, 以下のシンボルを次の順序で用いる. \*, †, ‡, §, //, ¶, \*\*, ††.
- (6) 写真のなかに説明(スケールの単位, 矢印等)を要する場合は, 著者があらかじめ文字や記号などを写真に挿入する. 写真の幅は, 8cm または17cm のいずれかに指定すること.
- (7) 文献は, 引用順に番号をつけて最後に一括して, 下記の記載例形式で記す. 本文中の記載も「…知られている<sup>1)</sup>」あるいは「…<sup>2,3)</sup> …<sup>1-5)</sup>」のように文献番号を上付きでつける. 著者が7名以上の場合は, 4人目以降は省略し, 3名の著者名+「, ほか」(英文文献では3名の著者名+「, et al. 」)とする.

### [記載例]

<学術雑誌>著者名. 表題. 雑誌名発行年(西暦); 巻: 初頁-終頁.

- 1) 高木邦格, 渡辺康雄, 渋谷健. 脳内アセチルコリンの神経化学的研究: 熱分解GC/MS 法による定量とその応用. 日薬理誌1990; 96: 275-288.
- 2) 山崎洋一, 今村博, 吉満工平, ほか. 胆石症術後に腸閉塞をきたした回腸子宮内膜症の1例. 鹿大医誌2019; 711-5.
- 3) You CH, Lee KY, Chey RY, Menguy R. Electro-gastrographic study of patients with unexplained nausea, bloating and vomiting. Gastroenterology 1980; 79: 311-314.
- 4) The Royal Marsden Hospital Bone-Marrow Transplantation Team. Failure of syngeneic bone-marrow graft without preconditioning in post-hepatitis marrow aplasia. Lancet 1977; 2: 742-744.

<単行本> 著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地: 発行所, 発行年(西暦): 引用初頁-終頁.

- 1) 西山馨, 黒野昌庸. 必須脂肪酸の生化学と生理作用. 日本ビタミン学会編. ビタミン学[I] 脂溶性ビタミン. 東京: 東京化学同人, 1980: 312-320.
- 2) Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganism. In: Sodeman WA Jr, Sodeman WA, editors, Pathologic physiology: mechanisms of disease, Philadelphia: Saunders, 1974: 457-472.
- 3) Colson JH, Armour WJ. Sports injuries and their treatment. 2nd rev. ed. London: S. Paul, 1986.

上記の記載例は, Uniform requirements for manuscripts submitted to bio-medical journals (1991)に準じた. 雑誌名の略記は, List of Journals in Index Medicus 及び医学中央雑誌略名表を用い, 不明の場合は略さずに書くこと.

- (9) インターネットのサイトは, 他に適切な資料がない場合のみ文献として使用してよいこととする. この場合は, サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに, アクセスした年月日も付記すること.